

## 公益活動報告書（市民活動実績報告書）（令和6年度）

（宛先）岡崎市長

令和7年3月20日

団体名 和装文化なでしこの会代表者 織田 亜矢構成員 20人（※令和7年4月1日時点の構成員数）

団体の目的：団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

きものの着付けや礼法を通して、日本文化の伝承と振興を目的とする。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

## ■ 1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。（公益活動に限る）

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは？	受益者 （会員以外） 人数※1	活動内容
R6. 5. 21	梅園学区 市民ホーム	HP・チラシにて 募集した参加者	11人	きものを着装しての食事作法・マナー講座を開催。岡崎市の観光モデルコースを提案した。
R6. 6. 4～7. 9 の火曜日	〃	〃	のべ40人	初心者から上級者まで対象のゆかた着付け講座を開催した。
R6. 11. 26	りぶら 3F 和室	〃	14人	講師を招き、絹織物の歴史・成り立ちを学ぶ染色研修会を開催した。
R7. 1. 28 R7. 2. 4	〃	〃	17人	神社仏閣の参拝方法や、和室での所作などマナー講座を開催した。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。〈ex. 自然環境〉

## ■ 2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市（広く市民社会一般）に何をもたらしましたか。

きものの着装を通して日本文化の継承、きもの文化の振興に貢献した。

またHPで活動内容を紹介するとともに、きものでお出掛けする岡崎市の観光ルートの提案をし、多くの閲覧を得た。

## ■ 3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください（数字に○をつけてください）

高い ← 5 ④ 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

きものの着付けを通して、多くの方に岡崎市の歴史と文化の素晴らしさをアピールすることができた。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。